



いばらきの

特集

農

を知る

農

に触れる

市街地でも、郊外でも、地元産の新鮮な食材が手に入るのがこのまちの魅力。茨木の農をもっと知り、実際に触れてみれば、生活がさらに豊かになるはずです。

問合せ 農林課 ☎620-1622

農に近いまちで農の「今」と向き合う

直売所や駅前で開催されるマルシェなど身近な場所で地元産の新鮮な農作物が手に入る茨木。作り手の顔が見え、安心して選ぶことができるのも、地産地消がかなうのも「農に近いまち」だからこそ。今、茨木では若い農の担い手が、この土地の気候風土を活かした新しい特産品を生み出すとすする流れもあります。

一方、農業の現場では高齢化や人手不足といった課題も依然として残っています。市では新たな担い手を育てる講座や、空いた農地を斡旋する制度を始め、熱い思いで取り組む人を後押ししていきます。

今回は農業が特に盛んな市の北部地域を訪れ、農業に関わる皆さんにお話を伺いました。もっと農の今を知り、ご自身でも農と触れ合ってみませんか。

学校



小学校給食には茨木産の農産物も使っています。

実はこんなに身近！  
いばらきの「農」

お店



スーパーや直売所、朝市には新鮮な野菜や加工品が並びます。

個人



農業体験や援農ボランティアに参加できます。



|| CASE1 ||

ベテラン農業者に聞く！

# いばらきの農を支える取組って？



profile  
音峰さん  
見山地域で赤しそ・大甘青とうなどを育てる

茨木の特産品を育てていらっしゃるとお伺いしました。

先代から受け継いだ「赤しそ」と「大甘青とう」を育てています。



先代たちが見山地域の土地で育てるのに何が適している

かを見極め、選んだのが「赤しそ」や「大甘青とう」です。「赤しそ」はさまざまな品種がありますが、最適な品種の種を受け継いで守ってきました。今も山間部の各地域の代表がその年に1番良い種を見極め、配付・保存し、絶やさない工夫をしているのです。

農業者ならではのこだわりを教えてください。

料理する人の「手元に届くまで」を意識しています。



育てた野菜を新鮮なまま出荷できるように、試行錯誤してきました。例えば、赤しそは根が付いたまま出荷することで、すぐにしおれたり枯れたりするのを防げます。若手の農業者にも伝えることですが、「スーパーに並ぶまでではなく、台所で包丁を入れるまで新鮮かどうか」を大切にしています。



新規就農者との関わり方を教えてください。

見守り・教え、横のつながりを大事にしています。



茨木はまちが近く、確かな販路があるので、新規就農者もチャレンジしやすい環境だと思います。新たな担い手が来ると、先輩農業者が見守りますし、実地経験を踏まえたアドバイスもできます。例えば、レストランに出荷したい人には少量生産でも多品種を揃えたり、黒大根など色の珍しい野菜を育てたりすることをおすすめし、逆に「見山の郷」など、日常的に使用する販路で売りたい人は、見慣れた野菜が受け入れてもらいやすい、と教えることもあります。高齢化で農業者は減っていますが、その分貸し出せる土地があるので、体力のある若手の人にもっと来てもらいたいですね。



とっておき！  
いばらきの

## 特産品

地元で育つ新鮮で安心な農産物や加工品を食卓に取り入れてみませんか。

特産品の購入場所については6ページへ



7月中旬  
11月上旬

見山大甘青とう  
肉厚で柔らかい大型唐辛子。辛みも少なく食べやすい。



6月中旬  
7月上旬

赤しそ  
葉の色が濃く、漬けた梅は発色が鮮やかになる。

農作物



7月中旬  
11月上旬

あまっこ  
酸味が少なく果肉に弾力のあるミニトマト。



9月初旬  
10月下旬

ぶどう  
大粒でみずみずしく、糖度が高い。

赤紫蘇サイダー  
さっぱりとした味わい。見山の郷(P6)オリジナル製品。



de愛豆腐  
主原料の大豆から手作りされる豆腐。

加工品

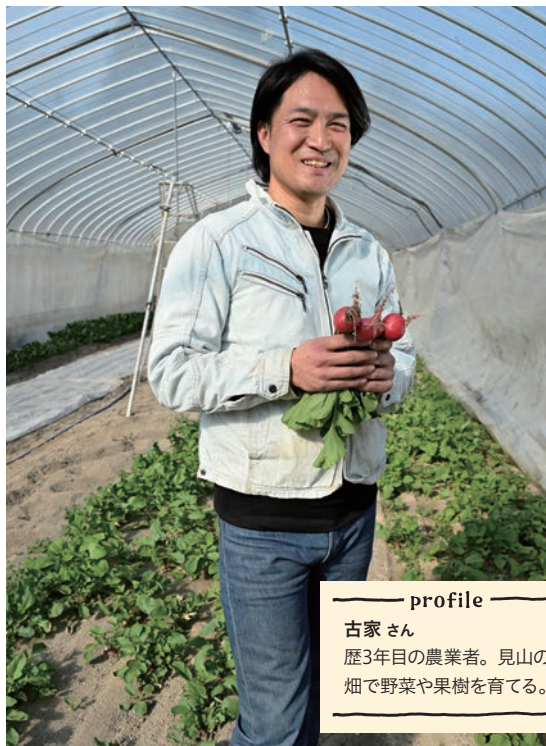


|| CASE2 ||

駆け出し農業者さんに聞く！

いばらきで

農業をする理由とは？



profile

古家 さん  
 歴3年目の農業者。見山の畑で野菜や果樹を育てる。

理想的な自然環境に惹かれて

ももとは会社員として勤めながら、週末に銭原の小さな畑で家庭菜園をしていたんです。その時間がとても充実していて、生活にも良い変化を感じていました。新型コロナ

ナが流行したとき、生き方を見直して本格的に農業を始めよう！と決意し、農業大学校で農家養成講座を受けました。

茨木の山間部を選んだのは、市街地から遠くない場所に自然が広がっている環境が理想的だったから。暮らしの一部として仕事ができるのが

嬉しいです。農業者になって3年目ですが、ようやく生産量など規模感を掴めるようになってきました。

農業を身近に感じてもらいたい

野菜だけでなく果樹園もやりたいと思っています。まだから人が集まって収穫体験をして賑わう様子を思い描いているんです。果樹を育てるには5〜10年が必要になるので、野菜の生産でしっかり基盤を作り、「みしま館」で販売しつつ、並行して果樹も育てていこうと思っています。農産物を買うだけでなく、ぜひ自分の手で野菜や果実を収穫してみてください。きっと「農」の楽しさを感じてもらえるはずです。

“いばらき育ち”の農産物はどこで買えるの？



### 見山の郷

竜王山のふもとにある農産物直売所。お米や野菜をはじめ、手作りの米粉パンや季節のジェラートなどを販売している。

営業時間 9:00～16:00  
 定休日 火曜、年末年始  
 問合先 649-3328 所在地 長谷1131



### みしま館

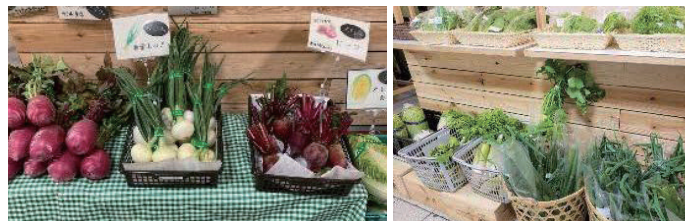
JA茨木市の組合員が栽培した新鮮な農産物が並ぶ。作る人と買う人の距離が近く交流も生まれる場所。

営業時間 9:30～17:00  
 定休日 水曜、年末年始  
 問合先 645-7100 所在地 庄二丁目26-22

### いばきた&準農家マルシェ

JR茨木駅周辺に出店するマルシェで、採れたての野菜や茨木産の材料を使った加工品を販売している。生産者の話を直接聞いて選べるのが嬉しい。

問合先  
 準農家マルシェ 農林課 ☎620-1622  
 いばきたマルシェ 北部整備推進課 ☎620-1609  
 所在地 西駅前町4茨木ショッピングタウン1階



それぞれの詳細やその他の朝市等は右図読み取り参照





初心者向け

農業への  
はじめの一步!

### 収穫体験を してみる

#### 大岩いも掘り園

広大な畑で芋掘りを体験できます。  
栽培品種は、甘みが強くほくほくした食感の紅はるか。

開催期間

9月15日～11月3日の土・日・祝日

開園時間

9:00～16:00 (受付は15:30まで)



### 家庭菜園を始めてみる

広い庭やベランダがなくてもプランターひとつで野菜を育てられます。まずは初心者でも簡単な夏野菜から始めてみませんか。



## あなたに合った 農との触れ合い方

興味が沸いたら、実際に始めてみませんか？

### 市民農園を 借りてみる

市や農業者が開設する農園で、農地を借りて気軽に栽培を楽しめます。

#### 市が開設する市民農園

- 銭原ふれあい農園
- 総持寺ふれあい農園
- 山手台ふれあい農園
- 彩都やまぶきふれあい農園
- 彩都東ふれあい農園



場所や  
利用期間の  
詳細はこちら



上級者向け

求ム！就農者！



農林課 正木

市では就農をめざす人に向けた取組を実施しています。今年度からは新たな制度も始まり、チャレンジする人を後押しします。

制度を活用して就農をめざしませんか？

就農 について  
詳しくは 9 ページへ！

中級者向け

援農の  
ススメ！

援農とは？

農業者の仕事をボランティアで手伝い、農作業の一連の流れを体験できる仕組みです。人手不足に悩んでいる農業者と、農業を始めてみたい人、どちらにもメリットがあります。

人手が欲しい

歳をとって重労働が大変

農業者さん

農業者さんに教えてほしい

農業を始めてみたい

援農者さん

援農 について  
詳しくは 8 ページへ！

ちよこつと農業を体験してみたい人から、本気で就農をめざす人まで。多様な農との関わり方を紹介します。



“援農”のススメ!

農業者さんの力になりたい!

## “援農”で始める農業



profile

森さん  
パートで働きながら援農  
をしている

### 自分にできる一歩が “援農”でした

もともと自然が好きだったのと、親戚や友人が農業をしているのを見て、私もやってみたいと思うようになりました。ただ、畑を持っている人は後継者がいない、高齢で作業がしんどいといった大変な思いをされていることも知っていて、きっと茨木にも同じような人がいるはずだ

と、思っていたんです。何も作っていない畑を見かけると、その持ち主を心配することもありました。手伝いたいけれど知識がなかったのです、まずは学ぼうと援農を始めました。

### 農業者さんのそばで 知識や技術が身につく

援農は、農業者さんのお手伝いをする感覚なので、誰で

も気軽に始められます。一つ一つの作業も難しくないので、初心者や学びたい人にもぴったりだと思います。私も最初は農具の役割やどう使うかを全く知らない状態でしたが、だんだん慣れてきましたし、上手く活用できると時間短縮にも繋がると分かってきました。

田植えや芋掘りなどの農業体験と違うのは、収穫や作付けといった部分的な作業だけでなく、農に欠かせない作業全般に関われること。農業者さんに寄り添いながら、農やその土地の知識を深められます。同じことに興味を持つ仲間とおしゃべりするひとときも楽しみの一つです!

### 受け入れ 農業者さんの声

小西さん

農業に熱い想いを持っている方や学生さんなど、来てくれる人はさまざま。手伝ってもらえると助かりますし、人との触れあいや繋がりの輪がどんどん広がっていくのがうれしいです。

### “援農”を始めたい方へ!

援農を始めたばかり、という坂東さんに援農の基礎知識を教えてくださいました。

#### Q どうやって 援農を始めたの?

A 私は市の農業講座に参加したことをきっかけに農業者さんと知り合いました。

#### Q どんな作業を しているの?

A 農具を使って畑を耕したり、種をまいたり、収穫のお手伝いをしています。

#### Q 用意が 必要なものは?

A 作業ができる動きやすい服装で行きましょう。気になる人は日よけや虫よけの対策もしておきましょう。

帽子



長靴



手袋



など



profile

坂東さん  
自然が好きで、援農やボランティアに参加している



援農を始めたい人は農林課☎620-1622にご相談ください。

# いばらき農林 ≡NEWS≡

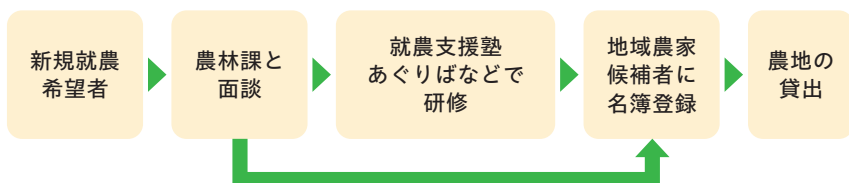
「農業を仕事にしたい」  
「自然を守る活動に興味がある」  
そんな人に向けた制度や講座を  
お知らせします！

## NEWS 1 4月から“地域農家制度”が スタートしました！

就農を希望する人が農地を借りられる「地域農家制度」が始動しました。市内で就農する意欲の高い人を対象にした制度で、まずは農林課が面談を行い、希望者の知識や

技術を確認します。認定基準を満たした人は、「地域農家候補者」として登録され、農地で耕作ができるようになります。

### 地域農家制度利用の流れ



詳細はこちら



## NEWS 2 就農の道へ 踏み出すなら

### “就農支援塾 あぐりば”へ

修了後に市内で就農する意欲の高い人に向けて開講している「就農支援塾あぐりば」。栽培管理や機械操作、経営など、農業に必要な知識と技術を、実習・座学で学ぶことができます。修了すると農地利用可能な「地域農家候補者」に登録されます。

※あぐりばの開始に伴い、これまで開催していた「いばらき農業はじめ隊」は終了しました。

詳細はこちら



里山保全の仲間になりませんか

## NEWS 3 森林環境サポーター 養成講座に 参加しませんか？

半年間の受講で、里山の保全に必要な知識と技能が身につく講座です。修了生の多くが、森林整備ボランティア団体で活躍しています。自然や仲間との触れ合いも楽しみながら、美しい里山を守り、未来に繋ぐお手伝いをしませんか。

詳細はこちら

